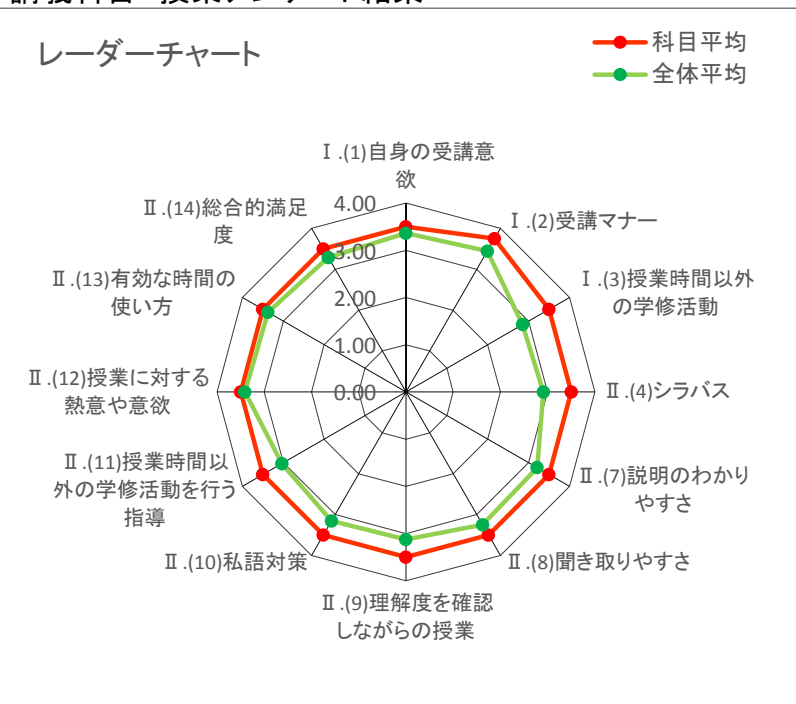
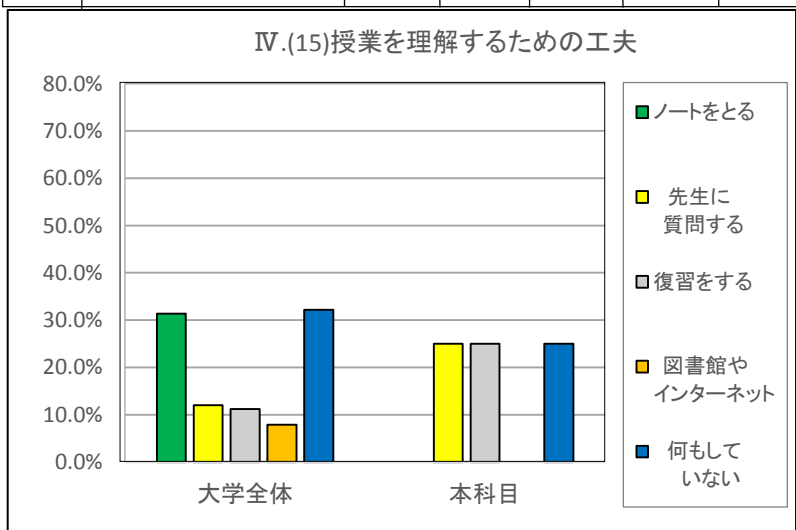


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.50	3.36
	I.(2)	3.75	3.45
	I.(3)	3.50	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.50	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.50	3.21
	II.(8)	3.50	3.25
	II.(9)	3.50	3.13
	II.(10)	3.50	3.16
	II.(11)	3.50	3.04
	II.(12)	3.50	3.41
	II.(13)	3.50	3.37
	満足度	II.(14)	3.50

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.58	3.22
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.50	3.18
総合的満足度		
III.(14)	3.50	3.29

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	12301
科目名	基礎数学 I
教員名	

①授業計画の達成度について
 授業で計画された内容は、大学生として、また社会人として知っておくべき必要な内容である。再履修生対象の科目ということもあり、学生においてある程度の下地ができており、授業計画通り進行できた。

②授業の進め方について
 問題演習、解法の確認、個別的なアドバイス、質問の受付け、という順序で行った。授業の進行に学生も協力的であった。開講当初、この科目が求めている計算技能や数理的思考が不十分であった学生も、授業時間以外の学習時間を確保していたようであった。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 恒常的な出席者は全員試験に合格できており、科目が求めている最低限のレベルには到達している。くり返し注意を促している知識であっても定着していない場合が、いくつか散見された。リメディアル系の科目は学生における意欲によっても支えられる傾向が強く、学習量に応じて学生は達成度を実感している。今後とも学生の意欲を引き出す工夫が必要と考える。